

教科名 国語 3 学年

月	時数	単元名 題材	学習内容・活動
4月	6時間	世界はうつくしいと 1 深まる学びへ 握手	・詩を朗読する。 ・作品の設定を捉え、人物像と心情を読み取る。
5月	11時間	意見を聞き、適切さを判断する 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう1 文法への扉1 学びて時に之を習ふ 言葉1	・回想の場面を探し、作品の構造を整理する。 ・目的や場面に応じて話題を決め、考えを想定しながら材料を整理する。 ・練習問題に取り組む。 ・単語の活用、助詞や助動詞の働きについて理解する。 ・論語を読み孔子の考え方を読み取る。 ・自分の生活に生かしたい言葉を選び、伝え合う。
6月	12時間	2 視野を広げて 作られた「物語」を超えて 思考のレッスン 論理の展開を意識して書こう 漢字に親しもう2	・全文を通読し、論理の展開を捉える。 ・筆者の主張を捉え、文章にまとめる。 ・具体と抽象の関係についてどんなことに注意すればよいか確認する。 ・目的や意図に応じて題材を集め、伝えたいことを明確にする。 ・練習問題に取り組む。
7月	10時間	3 言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉の釣り糸を垂らす 語彙を豊かに 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	・俳句の特徴を確認し、筆者の評価のしかたを捉える。 ・一句を選び、鑑賞文を書き、読み合う。 ・名人の作句法などを基に俳句を作る。 ・全文を通読し、題名の意味を捉える。 ・漢語・和語・外来語について理解する。 ・文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉える。
9月	10時間	情報整理のレッスン 読書を楽しむ	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・見つけた本を読み、書評やポップを書く。
10月	11時間	4 状況の中で 挨拶 故郷 論理の展開を整える 聞き上手になろう 漢字2 5 自らの考えを 複数の意見を読んで、考えよう 考えを効果的に伝えよう 漢字に親しもう3	・詩に表現された内容について、感じたことや考えたことを文章にまとめる。 ・作品を通読し、設定を捉える。 ・場面や登場人物の設定に着目して読み深める。 ・目的や読み手に合わせて表現や論理の展開を整える。 ・相手や場に応じた言葉遣いを理解する。 ・練習問題に取り組む。 ・観点を決めて分析する。 ・構成を考えて批評文を書く。 ・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。

11月	12時間	文法への扉2 初恋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法の問題に取り組む。</li> <li>・詩を音読し、言葉のリズムや響きを味わう。</li> </ul>
12月	9時間	6 いにしえの心を受け継ぐ 和歌の世界 君待つと 夏草	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。</li> <li>・和歌を声に出して読み、一首選んで鑑賞文を書く。</li> <li>・芭蕉のものの見方や感じ方を読み取り、心に響く俳句を選び、理由などについて話し合う。</li> <li>・気に入った名句・名言を選ぶ。</li> <li>・本文を通読し、言葉に対する筆者の考えを捉える。</li> <li>・筆者の見方・考え方に対する理解を深める。</li> <li>・練習問題に取り組み、復習する。</li> </ul>
1月	12時間	7 価値を生み出す それでも言葉を 漢字に親しもう4 話し合いを効果的に進めよう 合意形成に向けて話し合おう 本は世界への扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合う。</li> <li>・互いの考えを生かしながら議論や討論をする。</li> <li>・興味を持った本について話し合う。</li> </ul>
2月	9時間	8 未来へ向かって 温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう 漢字に親しもう5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。</li> <li>・国際性について自分の考えを持つ。</li> <li>・筆者の生き方や考え方を読み取る。</li> <li>・作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。</li> <li>・三年間の学びを振り返る。</li> <li>・練習問題に取り組む。</li> </ul>
3月	3時間		
	計105時間		

※ その他必要に応じて、聞き取りテストや漢字テスト、スピーチや作文を実施していく。また、適宜、学習ドリルソフトを活用していく。書写指導においては行書体（硬筆・毛筆）を学ばせる。